

全国制覇目指し技磨く

12月に開かれる「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」に、佐野高付属中が初出場する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各都道府県の会場での分散開催となる。8月に行われた県大会を勝ち抜いたメンバーは「まさか通過できると思ってなかったのうれしい」と喜びを語る一方、「ミスをしないように気を付けて、優勝を目指したい」と全国大会に向けて研さんを積んでいる。(大貫業伊予)

全国大会は国立研究開発 裾野を広げるとともに、未法人科学技術振興機構(JST)の主催。科学好きのや創造性に優れた人材の育成を目的としている。各都道府県の代表が科学の思考力・技能を競う。

成を目的としている。各都道府県の代表が科学の思考力・技能を競う。

来月「科学の甲子園ジュニア大会」



科学の甲子園ジュニア全国大会に出場する佐野高付属中のメンバー

同校のメンバーはいずれも2年の松葉紳一郎さん、丸山凱さん、水谷至温さん、島田琉睦さん、立川璃空さん、新井逞さんの6人。数学や理科が好きな生徒が集まり、夏休み中は週

佐野高付属中が初出場

に1度、過去問を解くなどして練習を重ねた。学校のテストとは違い、大会では数学、理科など複数の分野を応用し、日常生活に関連した問題が出される。生物や数学、物理など分野ごとに担当を決めて問題に取り組むが、メンバーと相談しながら解くこともできる。県大会では「自分の担当する問題に集中すべきか、グループを助けるのか、その判断が難しかった」(丸山さん)という。

全国大会は当初、兵庫県姫路市で筆記と実技が行われる予定だった。だが新型コロナウイルスの影響を考慮し、各都道府県の会場で12月3日、筆記競技のみで実施されることになった。

キャプテンの松葉さんは「県大会では凡ミスをしてしまつたので、チームワークを高めて取り組みたい。目標は優勝です」と意気込む。水谷さんも「チームのために努力を続けたい」と話すなど、メンバー全員が士気を高めている。

指導を担当する神戸清和教諭は「本校の他チームと切磋琢磨して良い結果が出た。他チームの気持ちも背負って全国に臨んでほしい」とエールを送った。